

製品名: MKP-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13935**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

抗原情報

遺伝子名	DUSP9
別名	DUSP9; MKP4; Dual specificity protein phosphatase 9; Mitogen-activated protein kinase phosphatase 4; MAP kinase phosphatase 4; MKP-4
遺伝子 ID	1852.0
SwissProt ID	Q99956
免疫原	抗血清はヒト DUSP9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

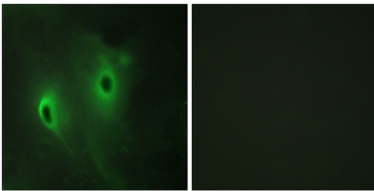
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質ホスファターゼサブファミリーのメンバーです。これらのホ

スファターゼは、ホスホセリン/スレオニン残基とホスホチロシン残基の両方を脱リン酸化することにより、標的キナーゼを不活性化します。これらは、細胞の増殖と分化に関連するマイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼスーパーファミリーのメンバー (MAPK/ERK、SAPK/JNK、p38) を負に制御します。二重特異性ホスファターゼファミリーの異なるメンバーは、様々な MAP キナーゼに対して異なる基質特異性を示し、組織分布と細胞内局在が異なり、細胞外刺激による発現誘導様式も異なります。この遺伝子産物は、MAP キナーゼの ERK ファミリーのメンバーに対して選択性を示し、細胞質と核に局在します。この遺伝子の異常発現は、2 型糖尿病および癌の発症と関連している。触媒活性: リン酸化タンパク質 + H(2)O = タンパク質 + リン酸。触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。機能: MAP キナーゼを不活性化する。ERK ファミリーに特異性を持つ。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。非受容体クラス二重特異性サブファミリー。類似性: ロタネーゼドメインを1つ含む。類似性: チロシンタンパク質ホスファターゼドメインを1つ含む。、

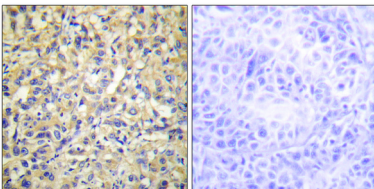
研究分野

MAPK_ERK_成長;MAPK_G_タンパク質;

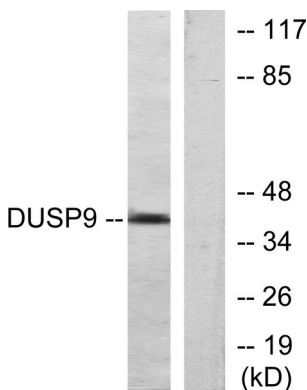
画像データ



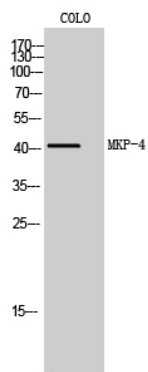
DUSP9 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



DUSP9 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



DUSP9 抗体を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MKP-4 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた COLO 細胞のウェスタンブロット解析